

令和5年度 第2回
川西市産業ビジョン推進委員会 次第

とき 令和5年9月27日(水)9時00分～10時30分
ところ 川西市役所 4階 庁議室

1 開会

2 議題

(1) 前回会議の意見対応について 【資料1】

(2) 前期産業ビジョンの評価と課題 【資料2】

(3) 評価指標の更新 【資料3】

(4) 産業ビジョンの体系と主要施策について 【資料4】

3 閉会

川西市産業ビジョン推進委員会 委員名簿

(委員任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日)

		分野	氏名	選出区分	方式
1	委員長	学識経験者	佐々木 保幸	関西大学経済学部	対面
2	副委員長	学識経験者	吉田 満梨	神戸大学大学院経営学研究科	オンライン
3	委員	学識経験者	時任 啓佑	武庫川女子大学 実践学習センター	対面
4	委員	学識経験者	山本 利映	(株)ともに経営研究所	オンライン
5	委員	学識経験者	木原 奈穂子	鳥取大学農学部	オンライン
6	委員	必要と認めるもの	辻田 卓也	能勢電鉄(株)	対面
7	委員	必要と認めるもの	長濱 顕司	(株)池田泉州銀行川西支店	対面
8	委員	必要と認めるもの	宮本 純治	伊丹公共職業安定所	対面
9	委員	必要と認めるもの	野原 和憲	野原興産(株) 川西市商工会	欠席
10	委員	必要と認めるもの	西村 典子	伊丹社労士事務所 川西市商工会	対面
11	オブザーバー		藤森 薫	川西市商工会	対面
12	オブザーバー		九鬼 麻衣	川西市中心市街地活性化協議会 タウンマネージャー	対面

(敬称略)

前回会議の意見対応について

項目	主な意見	対応(案)
起業・開業	<p>開業率の目標について6%とあるが、かなり高い目標だ。全国で最も高い福岡市で6.3%といわれており、IT系の企業を増やす施策が取り組まれている。高い開業率を掲げているということであれば、何かしら方向性があるのではないか。</p> <p>ベッドタウンとして支持されている自治体であり、大企業で働いている方が起業するのではなく、子どもが手離れした時の起業や、地域でなにかしたい方が起業を考えているのではないか。福岡市はITコミュニティやエンジニアの方がおり、トップダウンで機運醸成が図られたが、川西市でも小さくても動いているムーブメントがあるのではないか。</p> <p>子どもの手が離れた方や、高齢者の方の開業したい方が得意分野で考えているのではないか。そういう方に対して、伊丹市では小さな事務所を格安で貸し出してくれたり、自宅で開業というのもあるが、住宅地で不便のため、そういうことを川西市が支援してくれると良いのではないか。</p> <p>開業率ではコロナ禍で兼業や副業の機運が出てきたということで、ベッドタウンで会社員が多いことも含めて、会社で働いている人の兼業や副業を進めることも特色になるのではないか。</p> <p>開業支援のセミナーも、「副業」「セカンドキャリア」「好きなことを仕事にする」というキーワードによって、明確に方向性を定めて打ち出すことによって、地域外からも参加される方がいるような取り組みになっていくのではないか</p> <p>社会的弱者と呼ばれる方へのセミナーが盛況だったということだが、こういうところへ支援すればする</p>	<p>市として新規出店補助、また起業に関するセミナーを実施している。また、コワーキングスペースからビジネスに繋がるコミュニティ形成もしている。ただし、イメージされているような業種等ははっきりと決まっていない。</p> <p>当初の基準値5.3%から0.7%減少していることから、当初目標値としていた6%までの上昇は難しいと考え、目標値を下方修正し、5.5%に変更する。</p> <p>起業する機運を作っていくことが非常に難しいと感じている。スペース運営等について、市が出来るのはセミナー開催と補助事業であり、そうした中で機運醸成や方向性を示すことの課題を考えている。</p> <p>ライフステージに応じた起業支援の実施や兼業・副業等での起業等、段階に応じた起業・開業の支援を検討する。</p> <p>多様な働き方についての支援は引き続き実施し、多様な働き方を推進する。一方で、労働局との一体的実</p>

項目	主な意見	対応(案)
	<p>ほど、ジェンダーギャップが開いていたり、障がい者の方が正規社員ではなくサポート的な業務に従事することを促すところもある。</p> <p>コロナになって開業希望者が増えた。セミナーは満員御礼であり、コロナになってなにかしないとという男性の方や、社会的な課題で開業したい女性の方もいる。ただし、現実と理想は乖離することがあり、ビジネスにつながっていない方もいる。</p> <p>今後起業に向けたステップアップに向けたハードルもあるようだ。市の起業相談や商工会の起業セミナーを受けてはどうかと伝えているが、より伴走支援ができると良い。</p> <p>中心市街地は家賃が非常に高く、ハードルが高い。家賃補助はあるが、終わったあとはどうなるのかといったことが、ステップアップに向けて支援ができれば。</p>	<p>施事業の方向性を見直して、人的支援、個別・伴走型サービスを重点的に提供し、一般就労も並行的に推進していくことで、ジェンダーギャップの課題等に対応していく。</p> <p>ソーシャルビジネスに関するセミナーや女性起業塾、起業支援セミナーの実施に加え、社会起業家を支援するガバメントクラウドファンディングの実施を検討する等、より重層的に支援する。</p> <p>起業の段階ごとに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化協議会実施の起業相談 ・女性起業塾・商工会実施の起業支援セミナー ・新規出店事業支援補助金 ・新規出店事業支援に伴う経営相談 <p>と、支援メニューを準備し、伴走型の支援を行う。</p> <p>現状の新規出店事業支援補助金による家賃補助を終えた後の支援施策について検討を進めていく。</p>
<p>コワーキングスペース、中心市街地活性化</p>	<p>コワーキングスペース絡みで、マチノマについて、思ったより広いスペースで、駅直結で使いやすい場所だが、現状、どのような人の利用があるのか。Wi-Fiも使えるし、ある程度の人数でイベントをすることも可能だ。コワーキングスペースとして使うことも可能だ。一方、Pivot川西には助成金を出しており、協力や上手な連携を取っていくことが重要だと思う。</p>	<p>現状、マチノマはまちのにぎわいづくり、ピボットはビジネス寄りの起業やネットワークに取り組む、といった形で緩やかに住み分けしている。</p> <p>今後はマチノマは様々な要望や意見を一次受けする施設となり、そこから内容に応じて必要な支援を紹介していく役割を担っていきたいと考えている。その中でビジネスとしての起業や起業家コミュニティへの参加はPivotを紹介する、といった形で住み分けをしていければよいと考えている。</p> <p>コワーキングスペースの補助はフォローアップが難しい。今の家賃補助や回線使用料、人件費を補助しているが、再来年10月に終わる。そ</p>

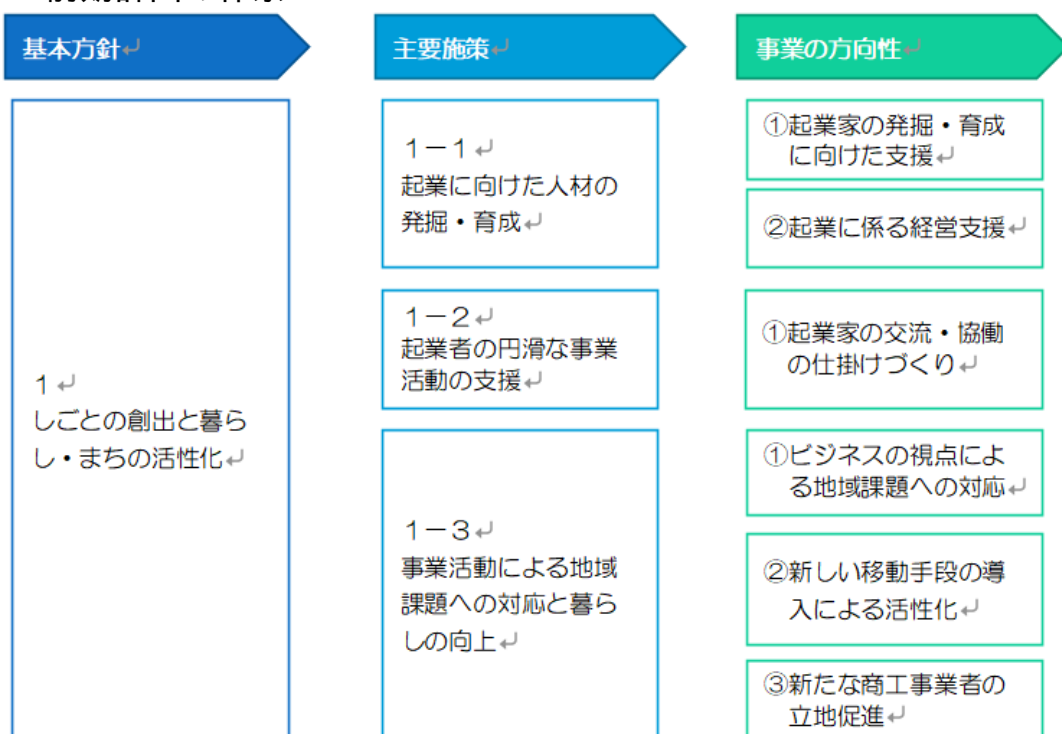
項目	主な意見	対応(案)
	<p>フォローアップが課題との説明があったが、重点指示事項の「ビジネス交流スクール」の運営についても同様で、その場を構成するコミュニティのハブになるような方がいないと難しいのだろう、という印象。すでにロールモデルになっているような起業家の方や、川西市の市民活動やビジネスのリーダーの方で、そうしたハブになる人材はいないか。</p> <p>ビジネスパーソンが学び合うビジネススクールについて、将来的にビジネスまで発展させるかどうか、目的や対象者はどう考えているのか。</p>	<p>の後の市の関わり方や今の市の関わり方の難しさも感じている。</p> <p>3年間の運営資金の支援を行っており、コワーキングスペースの補助終了後は、市としては一定の役割を終えたと考え、追加の補助等の支援を行う必要はないと考えている。</p> <p>ハブになる人材の重要性は感じており、現在はハブになる人材を支援し、より大きなコミュニティとなるよう支援する段階だと考えている。</p> <p>まずは異業種交流会のような形式からビジネスコミュニティの形成を始め、最終的に自発的なビジネス交流スクールに発展していけば、と考えている。</p> <p>対象者は企業に勤めている方を中心に、起業家や住民も含めて考えている。また、ゴール設定については、副業・兼業による起業までを見据え実施できればと考えている。</p>
既存産業の事業承継支援	<p>現状では約半数がサービス業であり、卸売業、小売業や製造業もかなり減っている。また、倒産・廃業件数もあつたり、事業承継の課題もあると思う。製造業や卸売業、小売業の事業継続に課題を抱えている事業者が、市役所や商工会にどのような相談をされているのか、また意見の吸い上げをどのようにされているのか。</p>	<p>製造業や卸売業、小売業はかなり減ってきており、課題感を持っている。ここに対する施策として、事業承継支援は必要と考えている。</p> <p>市として事業承継のセミナーを実施しているが、参加される事業者は少なく、オープンなセミナーで事業承継の話をするのはセンシティブなテーマでもあり難しいのではないかと感じている。セミナー以外の行政としての関わり方があるのか、検討していく。</p> <p>商工会では、3～4年は事業承継セミナーを実施しているが、年1回で1桁くらいしか参加者がいない。そこで今年からはセミナーをやめ、月1回の個別相談を実施しているが、5月に1社、6月はなしといった状況だ。実際に相談される方も少ないのが実情であり、商工会としても試</p>

項目	主な意見	対応(案)
	<p>有効求人倍率が1以下であり、働く場所がない状況だ。一方、事業承継とミスマッチだ。新たな起業を探すと、今ある事業者をないがしろにする可能性もある。ハローワークでは事業承継も含めてマッチングをするようなことはできないのか疑問がある。</p>	<p>行錯誤をしている。</p> <p>商工会やひょうご産業活性化センター、日本 M&A センターによる事業承継相談とも連携しながら重層的な事業承継支援を検討していく。</p> <p>確認したがそういった事例はない。ただし、起業と並行する業務としての事業承継支援を行うといった観点は非常に重要であると感じており、今後の施策立案の際に検討する必要がある。</p>
就農	<p>川西市では生産緑地法がどうなっているのか。2022年度問題があり、対策を打たないと生産緑地がさらに減少しかねない。</p>	<p>生産緑地について、2022年問題で対策をしたが、30年経過して解除したい方もおり、2～3月に農地転用が進み、イチジク畑も減っている。これからも減る可能性がある。</p> <p>【参考情報】 ○令和4年度に、指定から30年を迎えた生産緑地68.45haの内、58.89ha(約86%)を特定生産緑地に指定している。 令和4年6月～令和5年7月に買取申出による解除手続きのあった生産緑地は約6.5haで、令和5年度に都市計画変更(解除)を予定している。</p>
雇用の確保	<p>今の福祉事業所の充足率を教えてください。就労支援事業所A型、B型のような最低賃金が保証された状況で働くことができない方は多く、そういった働く場所を障がい者の方々にどれだけ提供できているのか。</p>	<p>市内の障がい者施設の事業所数及び各施設の定員は把握しているが、援護の実施等で市外の施設利用者もいるため、充足率の把握は難しい。</p> <p>障がい者の就労希望や、親なき後の自立に必要な就労に向けて、施策の総合的かつ効果的な推進を図るため、障がい者雇用・就労推進本部を設置し、福祉就労、一般就労及び市内雇用を一体的に推進していく。</p>

前期産業ビジョンの評価と課題

基本方針1 仕事の創出と暮らし・まちの活性化

前期計画の体系



【評価と課題】

指標分析

起業セミナー受講者の起業者数

目標値に向けて推移。起業を支援する環境が整いつつある。

開業率

下降気味。廃業率の上昇の影響が大きい。新規開業事業所数を大きく伸ばせていない。新たな起業人材の掘り起こしが必要。

主要施策の推進状況・課題

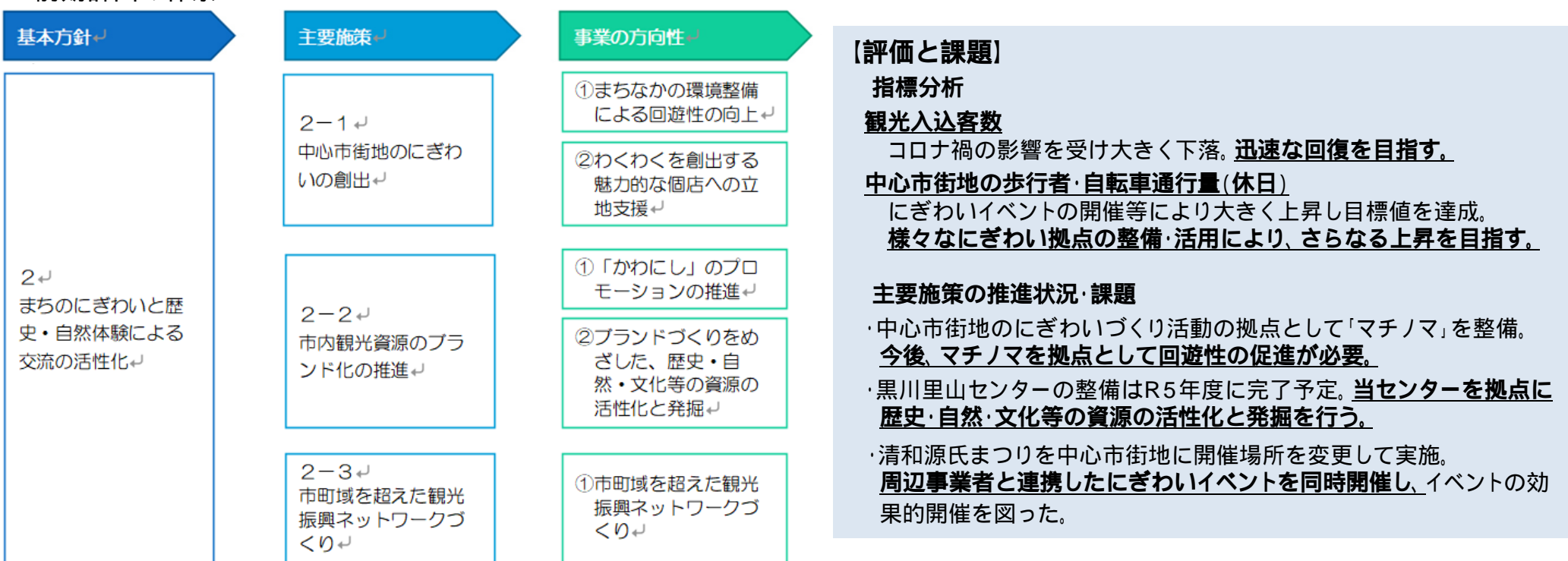
- ・コワーキングスペースの開設支援事業を実施し、起業家の活動環境を整備。今後、整備した施設を拠点に起業家の交流・共働の促進が必要。
- ・シェアリングエコノミーの導入は事業化検討にとどまった。今後、新たな起業人材の掘り起こし及びビジネス視点による地域課題の解決に関する施策の推進が必要。
- ・オンデマンドモビリティやグリーンスローモビリティの導入は現状と課題の共有やニーズ調査を行った。今後、分析をもとに、地域主体による課題解決のための活動の支援が必要。
- ・EC市場の拡大に伴って、市北部を中心に物流施設の立地が進んでいる。さらなる立地促進と合わせ、事業者のDX化の支援が必要。

評価指標の推移

指標名	基準年度	基準値	R3 ()は7-9時点	R4 ()は7-9時点	R5 最新値 ()は7-9時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
起業セミナー受講者の起業者数	H30	11人	14人 (R2)	25人 (R3)	21人 (R4)	30人		川西市 産業振興課
開業率	H28	5.30%	5.30% (H28)		4.6% (R3)	6.00%		経済センサス活動調査

基本方針2 まちのにぎわいと歴史・自然体験による交流の活性化

前期計画の体系

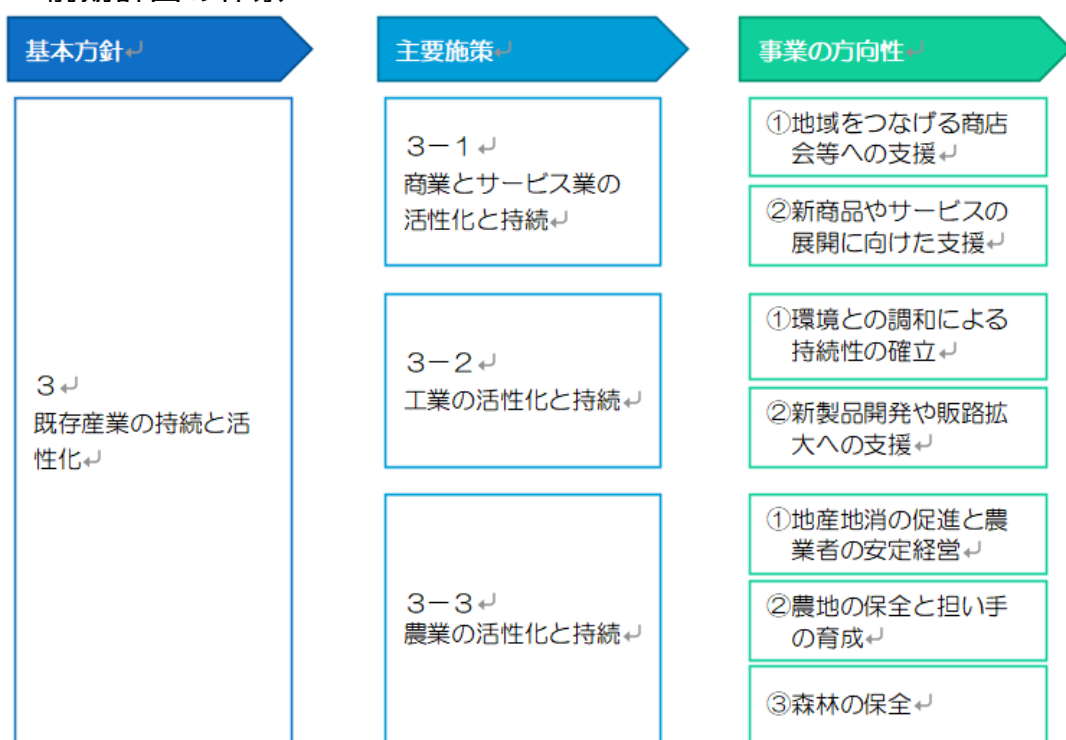


評価指標の推移

指標名	基準年度	基準値	R3 ()は〒-夕時点	R4 ()は〒-夕時点	R5最新値 ()は〒-夕時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
観光入込客数	H29	2,436 (千人)	2,302千人 (R1)	1,206千人 (R2)	1,261千人 (R3)	2,500 (千人)		兵庫県観光客動態調査報告書
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 6地点	H30	44,177 (人)	-	-	-	47,000 (人)		川西市 産業振興課
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 4地点	H30	36,017 (人)	32,289人 (R2)	39,855人 (R3)	39,771人 (R4)	38,318 (人)		川西市 産業振興課

基本方針3 既存産業の持続と活性化

前期計画の体系



【評価と課題】

指標分析

市内総生産

微減傾向。近隣市も同様の傾向にある。
事業者の積極的な事業活動の推進を支援する必要がある。

市内事業所数・従業員数

中小企業の廃業により、事業所数は減少・従業員数は微増。
中小企業の競争力の強化が必要。

農業産出額(推計)

大きく減少。農地面積も減少しており、現状を詳細に分析の上、**施策の方向性の決定が必要。**

主要施策の推進状況・課題

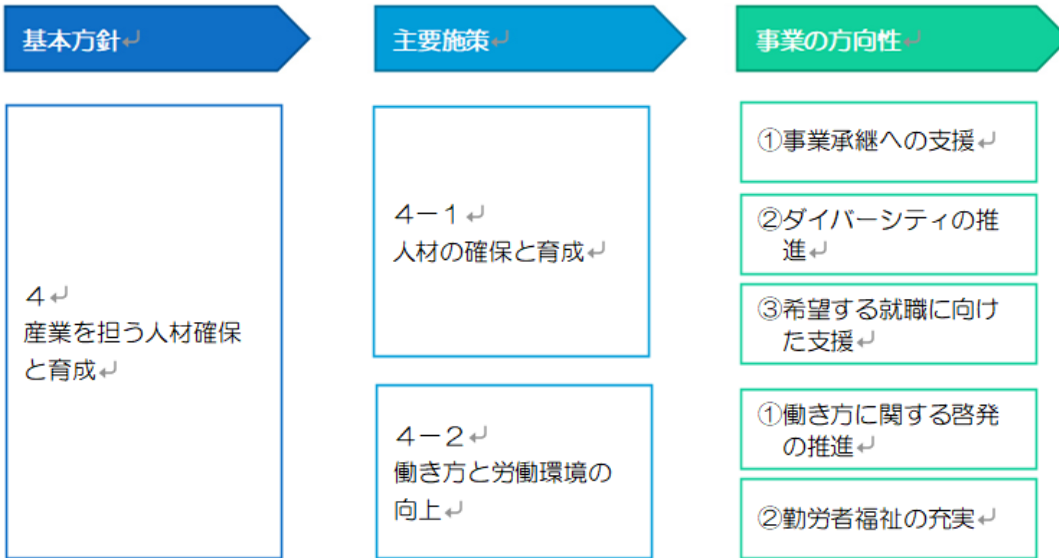
- ・コロナ禍に対応する施策としてプレミアム商品券事業を始め様々な事業を実施。**今後、原油価格・物価高騰への対応が必要。**
- ・技術開発補助金等中小企業振興補助金を実施。**今後、ニーズに合った補助形式へ変更が必要。**
- ・直売所マップとのぼりを作成し、農業の活性化を図った。**今後は農業の担い手育成を支援する必要がある。**

評価指標の推移(抜粋)

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はデ-タ時点	R4 ()はデ-タ時点	R5最新値 ()はデ-タ時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
市内総生産額	H30	344,855 (百万円)	330,412百万円 (R1)		316,397百万円 (R2)	360,000 (百万円)		兵庫県 市町内総生産
市内事業所数	H28	4,014 (事業所)	4,014事務所 (H28)		3,761事務所 (R3)	4,014 (事業所)		経済センサス 活動調査
市内事業所従業者数	H28	37,261 (人)	37,261人 (H28)		37,548人 (R3)	37,261 (人)		経済センサス 活動調査
農業産出額(推計)	H29	540 (百万円)	490百万円 (R1)	480百万円 (R2)	440百万円 (R3)	540 (百万円)		農林業センサス結果等を活用した市 町村別農業産出額の推計結果

基本方針4 産業を担う人材確保と育成

前期計画の体系



【評価と課題】

指標分析

労働力率

上昇。65～75歳は目標値を上回った。今後は**就業者の増加を目指す。**

自分の仕事に充実感がある市民の割合

増減しているが、目標値に向けて推移。

引き続き、働き方と労働環境の向上を支援する。

川西しごと・サポートセンターの就職件数

利用者減に伴い減少。

今後、就労に関する課題解決のための人的支援を強化する。

主要施策の推進状況・課題

・次世代トップリーダー講座を開催し、事業承継を支援した。今後、**さらなる施策実施により、事業承継の支援が必要。**

・多様な働き方の推進事業を実施し、働き方に関する啓発を進めた。**継続的な啓発推進が必要。**

評価指標の推移

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はデータ時点	R4 ()はデータ時点	R5 最新値 ()はデータ時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
15～64歳の労働力率	H27	52.10%	52.10% (H28)	54.42% (R2)		55.00%		国勢調査
65～74歳の労働力率	H27	26.20%	26.20% (H28)	33.31% (R2)		30.00%		国勢調査
自分の仕事に充実感がある市民の割合	H30	74.20%	83.10% (R2)	78.80% (R3)	79.5% (R4)	80.00%		市民実感調査
川西しごと・サポートセンターの就職件数	H30	1,037件	668件 (R2)	608件 (R3)	577件 (R4)	1,000件		伊丹公共職業安定所

(現行)
基本方針の評価指標

基本方針1．しごとの創出と暮らし・まちの活性化

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はテ-ク時点	R4 ()はテ-ク時点	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
起業セミナー受講者の起業数	H30	11人	14人 (R2)	25人 (R3)	21人 (R4)	30人		川西市 産業振興課
開業率	H28	5.30%	5.30% (H28)		4.6% (R3)	6.00%		経済センサス活動調査

基本方針2．まちのにぎわいと歴史・自然体験による交流の活性化

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はテ-ク時点	R4 ()はテ-ク時点	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
観光入込客数	H29	2,436 (千人)	2,302千人 (R1)	1,206千人 (R2)	1,261千人 (R3)	2,500 (千人)		兵庫県観光客動態調査報告書
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 6地点	H30	44,177 (人)	-	-	-	47,000 (人)		川西市 産業振興課
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 4地点	H30	36,017 (人)	32,289人 (R2)	39,855人 (R3)	39,771人 (R4)	38,318 (人)		川西市 産業振興課

第3期川西市中心市街地活性化基本計画の策定に合わせて、調査地点及び地点数を変更しているため、6地点の最新値は不明。そのため、共通する4地点の数値を記載。目標値は基準値の割合から算出。

基本方針3．既存産業の持続と活性化

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はテ-ク時点	R4 ()はテ-ク時点	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
市内総生産額	H30	344,855 (百万円)	330,412百万円 (R1)		316,397百万円 (R2)	360,000 (百万円)		兵庫県 市町内総生産
市内事業所数	H28	4,014 (事業所)	4,014事業所 (H28)		3,761事業所 (R3)	4,014 (事業所)		経済センサス 活動調査
市内事業所従業者数	H28	37,261 (人)	37,261人 (H28)		37,548人 (R3)	37,261 (人)		経済センサス 活動調査
市内で買い物をする人の割合	H30	85.80%	86.6% (R2)	85.2% (R3)	85.8% (R4)	90.00%		川西市 市民実感調査
年間商品販売額	H28	小売業 133,905 (百万円) 卸売業 18,954 (百万円)	小売業 133,905百万円 (H28) 卸売業 18,954百万円 (H28)		小売業 131,272百万円 (R3) 卸売業 16,285百万円 (R3)	小売業 133,905 (百万円) 卸売業 18,954 (百万円)		経済センサス 活動調査
製造品出荷額等	H30	73,617 (百万円)	77,457百万円 (R1)	66,572百万円 (R2)	47,797百万円 (R3)	73,617 (百万円)		工業統計調査
農業産出額(推計)	H29	540 (百万円)	490百万円 (R1)	480百万円 (R2)	440百万円 (R3)	540 (百万円)		農林業センサス結果等を活用した市 町村別農業産出額の推計結果

基本方針4．産業を担う人材確保と育成

指標名	基準年度	基準値	R3 ()はテ-ク時点	R4 ()はテ-ク時点	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	根拠資料
15～64歳の労働力率	H27	52.10%	52.10% (H28)	54.42% (R2)		55.00%		国勢調査
65～74歳の労働力率	H27	26.20%	26.20% (H28)	33.31% (R2)		30.00%		国勢調査
自分の仕事に充実感がある市民の割合	H30	74.20%	83.10% (R2)	78.80% (R3)	79.5% (R4)	80.00%		市民実感調査
川西しごと・サポートセンターの就職件数	H30	1,037件	668件 (R2)	608件 (R3)	577件 (R4)	1,000件		伊丹公共職業安定所

(改訂後)
基本方針の評価指標

基本方針1．しごとの創出と暮らし・まちの活性化

指標名	基準年度	基準値	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	総計目標値 (R13)	総計 方向性	根拠資料
起業セミナー受講者の起業数	R4	21人	21人 (R4)	30人		30人		川西市 産業振興課
開業率	R3	4.60%	4.60% (R3)	5.50%		5.50%		経済センサス活動調査

基本方針2．まちのにぎわいと歴史・自然体験による交流の活性化

指標名	基準年度	基準値	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	総計目標値 (R13)	総計 方向性	根拠資料
観光入込客数	R4	1,460 (千人)	1,460千人 (R4)	1,500 (千人)		1,550 (千人)		川西市 文化・観光・スポーツ課
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 6地点	H30	44,177 (人)	-	47,000 (人)		-		川西市 産業振興課
中心市街地の歩行者・自転車通行量(休日) 4地点	R4	39,771 (人)	39,771人 (R4)	42,000 (人)		42,000 (人)		川西市 産業振興課

基本方針3．既存産業の持続と活性化

指標名	基準年度	基準値	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	総計目標値 (R13)	方向性	根拠資料
市内総生産額	R2	316,397 (百万円)	316,397百万円 (R2)	330,000 (百万円)		330,000 (百万円)		兵庫県 市町内総生産
市内事業所数	R3	3,761 (事業所)	3,761事業所 (R3)	3,761 (事業所)		3,761 (事業所)		経済センサス 活動調査
市内事業所従業者数	R3	37,548 (人)	37,548人 (R3)	38,000 (人)		38,000 (人)		経済センサス 活動調査
市内で買い物をする人の割合	R4	85.80%	85.8% (R4)	90.00%		90.00%		川西市 市民実感調査
年間商品販売額	R3	小売業 131,272 (百万円) 卸売業 16,285 (百万円)	小売業 131,272百万円 (R3) 卸売業 16,285百万円 (R3)	小売業 131,272 (百万円) 卸売業 16,285 (百万円)		小売業 131,272 (百万円) 卸売業 16,285 (百万円)		経済センサス 活動調査
製造品出荷額等	R4	46,815 (百万円)	46,815百万円 (R3)	46,815 (百万円)		46,815 (百万円)		工業統計調査 経済構造実態調査
農業産出額(推計)	R3	440 (百万円)	440百万円 (R3)	440 (百万円)		440 (百万円)		農林業センサス結果等を活用した市 町村別農業産出額の推計結果

基本方針4．産業を担う人材確保と育成

指標名	基準年度	基準値	R5最新値 ()はテ-ク時点	目標値 (R9年度)	方向性	総計目標値 (R13)	方向性	根拠資料
15～64歳の労働力率	R2	54.42%	54.42% (R2)	55.00%		-		国勢調査
65～74歳の労働力率	R2	33.31%	33.31% (R2)	30.00%		-		国勢調査
市民の就業率	R2	46.90%	46.9% (R2)	48.00%		49.00%		国勢調査
自分の仕事に充実感がある市民の割合	R4	79.50%	79.5% (R4)	80.00%		80.00%		市民実感調査
川西しごと・サポートセンターの就職件数	R4	577件	577件 (R4)	600件		600件		伊丹公共職業安定所

川西市産業ビジョン の 体系 と 主要施策(案)

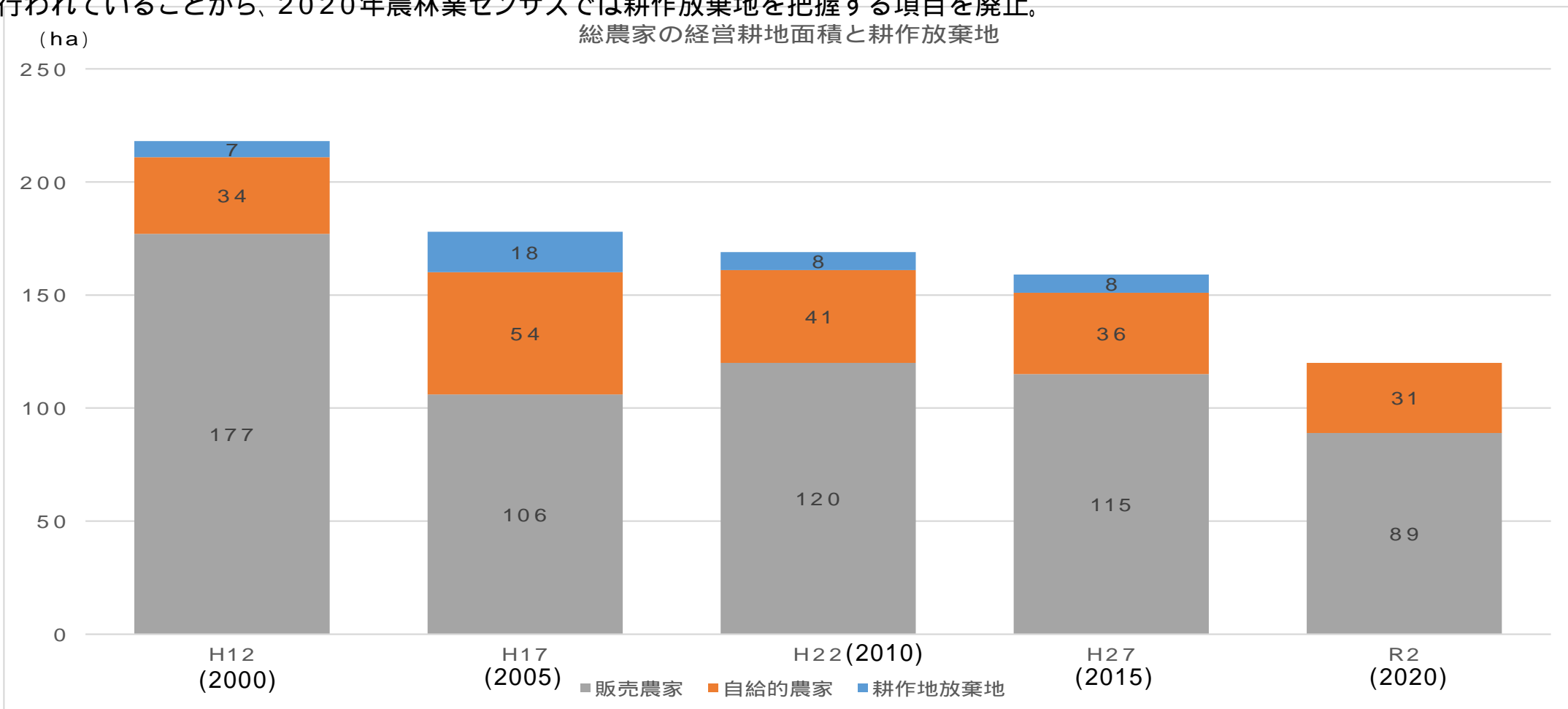
基本方針	主要施策	主な取り組み	事業展開の方向性	既存事業	新規・追加事業案	
1 しごとの創出と暮らし・まちの活性化	起業	起業家の発掘・育成に向けた支援	商工会等の関係機関と連携し、起業に関するセミナーの開催や相談体制の構築	川西女性起業塾		
		起業に係る経営支援	新規開業する飲食・小売店、サービス事業者等に対し、店舗の立ち上げに対する支援 起業時や起業後間もない時期の借入による資金調達を支援 移動販売・キッチンカーチャレンジショップ等による「小さな起業」支援	新規出店事業支援補助金 特定創業支援等事業受講証明書の交付 キッチンカーシェアリング事業 起業へのステップアップに向けてさらに幅広い業種の支援を伴行的に行う必要がある。	マチノマでの木箱ショップ事業によるお試し起業の実施から実際の開業やネットショップ開設等の支援につなげる	
	1-2 起業家の円滑な事業活動の支援	起業家の交流・協働の仕掛けづくり	起業家等の円滑な事業活動に資する「コワーキングスペース」を運営する事業者への支援	コワーキングスペース開設支援事業 開業時の工事費等及び家賃等の運営資金支援の支援を3年間行い、開設初期の資金面の支援を行ったため、次のステップへの移行が必要	業種ごとの交流会やオープンイノベーションに関するイベント等の開催を支援し、ビジネスや起業に関するコミュニティ形成を支援する(商工会・中小機構との連携)	
	ビジネスの視点による地域課題への対応	ビジネスの視点による地域課題への対応	「コミュニティビジネス」の起業支援を商工会等との連携により実施	個人等の資産やスキル等を活用する「シェアリングエコノミー」の導入	ソーシャルビジネス支援ネットワークかわにし 事業化に向けて検討中 スキルや個人等の未利用資産のシェアを行うため事業の具体化が必要	企業に勤めるビジネスマンを含む異業種・異職種との交流会から自発的なビジネス交流スクールの開設につなげる
			「企業版ふるさと納税制度」の活用を検討	ウイズ/ポストコロナの新たな地域・社会課題の解決に意欲的に取り組む事業者の支援	企業版ふるさと納税制度の活用 事業化に向けて検討中 地域・社会課題の解決に向けて事業の具体化が必要	地域・社会課題を解決するビジネスプランに対し、事業展開や資金面の支援を行う(ガバメントクラウドファンディングの活用)
			同業種・異業種連携の場の創出など、幅広い視野の対策検討	副業・兼業による起業の支援(新規) ベッドタウンである本市の特性等を考え、副業・兼業人材の発掘と地域事業者・起業家との交流による相乗効果を生み出す	経営発達支援計画の策定	副業・兼業による起業を目指したビジネス交流スクールの開設支援を行う(再掲)
			民間団体等からの提案募集や官民連携での取組の推進	民間企業等からの提案募集や官民連携での取組の推進	民間企業等との連携による課題解決	
	1-3 事業活動による地域課題への対応と暮らしの向上	新しい移動手段の導入による活性化 地域の移動課題解決に向けた支援 新しい移動手段の導入に限定せず、地域主体での移動課題の解決に向けた支援を行うため変更	地域の活性化に資する新たな交通手段「オンデマンドモビリティ」の導入 移動課題解決に係る地域主体の取り組みに対する支援 オンデマンドモビリティに限定せず、地域主体での移動課題の解決に向けた支援を行うため変更	オンデマンドモビリティ等の交通手段の検討 オンデマンドモビリティ等の交通手段の検討も含め、地域主体での活動の支援が必要	地域に適した交通手段の導入や既存交通の利用促進などの地域主体の活動を支援を行う。	
			中心市街地の回遊性の向上等をめざす「グリーンズローモビリティ」の導入	グリーンズローモビリティの導入検討 地域に適した交通手段や既存交通の利用促進による回遊性向上を目指すため削除する		
	新たな商工事業者の立地促進	新たな商工事業者の立地促進	川西インターチェンジ周辺土地利用計画に即した地区計画策定の支援	地区計画の策定支援(土地利用計画の改定に合わせて対応)		
国・県が実施する産業立地促進制度と連携			開発調整委員会企業調整部会での検討 R4年度に策定した地域未来投資促進法に基づく基本計画に則して具体的に立地促進を進めることが必要	地域未来投資促進法の基本計画に基づき、税制の優遇や東支援助の併用により立地促進を進める		
市北部地域における、土地利用計画の変更などの産業立地促進			都市計画の見直し 含羅林山開発事業への対応の終了に伴い終了(北部まちづくり計画策定に合わせて対応)			
2 まちのにぎわいと歴史・自然体験による交流の活性化	中活観光	まちなかの環境整備による回遊性の向上	商業施設、地域事業者等の連携の支援(新規) 回遊性向上の成果が商業施設に波及するよう商業施設相互や地域事業者等と商業施設の連携を支援する		商業施設間及び商業施設と地域事業者・プレイヤーの連携によるにぎわい創出の支援を行う	
			まちなか交流拠点の運営による交流・情報発信の促進(新規) 中心市街地の各ポイントをつなぐ拠点としてマチノマでの交流・情報発信を行う		まちなか交流拠点「マチノマ」マチノマでの交流促進・情報発信により公共空間ごとのつながりを持たせ、回遊性を促進	
			市有地、未利用地等を利用したにぎわい創出(新規) 気軽に利用できるにぎわい拠点を活用することで、回遊性を向上し、にぎわいを創出する		市役所南広場でのキッチンカー出店等を行い、公共空間を利用したにぎわい創出を行う	
			中心市街地の回遊性の向上等をめざす「グリーンズローモビリティ」の導入(再掲)	グリーンズローモビリティの導入 地域に適した交通手段や既存交通の利用促進による回遊性向上を目指すため削除する		
	2-1 中心市街地のにぎわいの創出	わくわくを創出する魅力的な個店への立地支援	中心市街地内の公共的施設へのルートを示す案内サイン等の設置	サイン計画の策定 「まちなか交流拠点」のサイン設置 事業完了に伴い削除する		
			事業者団体等による、周遊型集客事業等への支援	事業者団体集客事業支援補助金		
	2-2 市内観光資源のブランド化の推進	「かわにし」のプロモーションの推進	ブランド化を推進する、「清和源氏」をキーワードとしたプロモーションの実施	清和源氏PR動画の作成		
			能勢電鉄線やアサヒ飲料線、市内商業団体と連携したPRの推進	のせでんアートの開催 のせでんアートの終了に伴い事業の変更 清和源氏まつり(周辺事業者と連携したイベントの同時開催) 中心市街地に開催場所を変更し、周辺事業者と連携したにぎわいイベントを同時開催する 一蔵ダム周遊マラソン大会―川西一蔵ダム周遊里山ファンラン	三ツ矢の日の開催及び清和源氏まつりで三ツ矢イダーをPRする	
			清和源氏まつり、一蔵ダム周遊マラソン大会などのイベントの効果的な開催			
			ネット、SNSを活用した全国向けの魅力発信	SNS等を活用した魅力発信		
2-3 市町域を超えた観光振興ネットワークづくり	市町域を超えた観光振興ネットワークづくり	新たな観光資源の創造や潜在的な観光スポットの発掘、既存の観光資源のPR視点の転換	観光スポットのPR			
		黒川地域の施設の活用や、地域で活動する人材の発掘	黒川まちづくり支援事業 黒川地区地域資源活動提案募集の実施 川西市黒川里山センターの整備・管理運営	多田神社等清和源氏ゆかりの施設のPRを行う		
		国指定史跡の加茂遺跡や市登録文化遺産の旧三ツ矢記念館などのPR	三ツ矢記念館のPR 常時見学可能な施設でないため、PRが困難であるため右記事業に変更する 文化財保存啓発事業			
		都市近郊の立地を活かした、自然体験プログラムなどの開発検討	知明湖キャンプ場管理運営事業 知明湖キャンプ場管理運営事業	黒川里山センターにて自然体験プログラムを提供する		

商業 工業 農業	3 - 1 商業とサービス業の活性化と持続	地域をつなげる商店会等への支援	商店会等の魅力や利便性の向上などの、活性化に向けた取り組み支援	商業者団体集客事業支援補助金	
			商業者団体等による、地域ニーズに対応した事業への支援	商業者団体集客事業支援補助金	
3 - 2 工業の活性化と持続	3 - 1 商業とサービス業の活性化と持続	地域をつなげる商店会等への支援	「新しい生活様式」を踏まえた経営を行う事業者を対象としたPRや、消費喚起事業の実施 原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者への支援 原材料費の高騰による事業者の支援及び物価高騰による消費喚起施策を実施し、事業者を支援する	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウトクーポン事業 商店街お買物券事業補助金 電子プレミアム付商品券事業 川西市中小企業事業力向上対策補助金 川西市原油価格高騰対策中小企業支援金 キャッシュレス決済サービス活用事業者支援事業 	はばたんPayを利用した支援や自治体マイナポイント、事業者のDX支援等さらなる支援施策を検討する
			商業者団体等による、周遊型集客事業等への支援(再掲)	商業者団体集客事業支援補助金	
			川西の特色を生かした新たな特産品の創出(新規) 商業者と連携し、特産品の創出を支援し、商業の活性化につなげる		事業者との連携体制の構築を進める
			新商品開発の経費について、事業者がより効果的に活用ができるような補助制度を検討	事業化に向けて検討中 右記事業を実施する	開発段階から産業財産権の取得まで支援する新たな補助制度を実施する
			新規開業する飲食・小売店、サービス事業者等に対し、店舗の立ち上げに対する支援	新規出店事業支援補助金	
			県が認定する「経営革新計画」による事業や、起業家による借入時の信用保証料に対する支援	経営革新事業支援補助金	
			ふるさとづくり寄附金事業を活用した、市内事業者のPRと受注機会の創出	ふるさとづくり寄附金推進事業	
			中小企業等のDX推進による競争力の強化(新規) 倒産・廃業の主要因のひとつである中小企業等のDX化の遅れに対応し、競争力を強化するため、中小企業等のDX化を支援する。		商工会と連携し、専門アドバイザー派遣等によるDX化伴走支援を行う
			商業、サービス業者の見本市出展の経費に対する補助の実施	見本市出展補助金	
			3 - 2 工業の活性化と持続	3 - 2 工業の活性化と持続	環境との調和による持続性の確立
「エコアクション 21」の認証に係る経費への補助の実施	エコアクション21認証・登録補助金	エコアクション21地域事務局兵庫と連携した説明会を実施する			
「事業継続力強化計画」の認定を受けた企業が導入する、防災減災設備の購入に対する支援	事業化に向けて検討中 ニーズの確認及び補助内容の整理を行う				
新技術や新製品の開発を図る事業者に対し、技術開発に要する経費への補助	技術開発補助金 右記事業へ移行する	開発段階から産業財産権の取得まで支援する新たな補助制度を実施する(再掲)			
産業財産権(商標・意匠・特許・実用新案)の取得に係る経費に対する補助	産業財産権取得補助金 右記事業へ移行する				
県が認定する「経営革新計画」による事業や、起業家による借入時の信用保証料に対する支援(再掲)	経営革新事業支援補助金 右記事業へ移行する				
工業者の見本市出展の経費に対する補助	見本市出展補助金				
食の安全と安心をめざす、生産者の活動やマルシェの開催・直売所設置支援	朝市支援事業補助金 団体補助の見直しに伴い、右記事業に変更する	農産物の直売支援することで、地域農産物の直売活動と地産地消の推進する			
いちじく・桃・栗の生産支援や即売会の開催についてJAや関係団体と連携した支援	農林産物振興支援事業補助金 団体補助の見直しに伴い、右記事業に変更する	農産物振興研究会、JA、市等が連携して開催する特産品即売会の開催を支援する			
3 - 3 農業の活性化と持続	3 - 3 農業の活性化と持続	地産地消の促進と農業者の安定経営			
			産農振興の拡大などを計画的に行う農業者に対し、農業資材や種苗の取得等に対する支援	産農拡大転換等補助金 規模拡大をめざす農業者が限定的であることから方向性を変更し、農業生産施設等整備補助金に移行する	
			ビニールハウスの設置や、高収入作物の生産支援策の検討	農業生産施設等整備補助金	
			地域の農産物の直売システムの構築支援とPRの推進	直売所マップとのぼりの作成	
			耕作放棄の防止と新たな担い手の育成のため、市民ファーマー制度の実施内容の検討	市民ファーマー制度 農地バンク制度	JA矢間農園で農業指導を受けて農業体験をした方の就農に向けたステップアップを支援する事業を追加する
			農業の担い手不足を支援する産農ボランティア制度の設置	産農ボランティア(農業振興推進事業) 利用実績がないため方向性を変更し、農業担い手づくり事業に移行する	
			ため池や農業用水路等の点検・修繕等への支援	農業用施設応急改良事業費補助金(農業施設改良事業)	
			有害鳥獣の捕獲について、社団法人兵庫県猟友会川西支部との連携により実施(他団体との連携も構築する)	有害鳥獣捕獲 シカ緊急捕獲拡大事業負担金 特定外来生物捕獲	
			生産緑地の新規・追加指定と特定生産緑地の指定の申出への対応	生産緑地の指定等への対応	
			「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づく申請への対応	都市農地の借受けに向けた事業計画の認定	
3 - 3 農業の活性化と持続	3 - 3 農業の活性化と持続	農地の保全と農業の担い手の育成	「農福連携」や「農教連携」の展開支援	事業化に向けて検討中 右記事業を実施する	矢間農園での取り組みを他の福祉事業所に広げられるよう支援するとともに、農作業等を委託する際の補助等を行う
			農業の担い手の育成をめざした、新たな農業体験機会の創出	農業担い手づくり事業	
			農地活用や利用者資格の緩和	市民ファーマー制度	
			里山林などの身近な森林の整備・保全のため、森林ボランティア団体への補助	森林ボランティア団体支援事業補助金	
			県と連携した山地防災対策の推進(新規) 山地防災への対応のため新設する		県が実施する治山事業に協力し、激甚災害に対応するため県と連携して治山事業を進める
			森林環境譲与税を活用した、森林整備や担い手の確保、木材利用の促進等を検討	森林環境譲与税の活用	
			農業者の経営所得安定対策や農業共済・収入保険の加入促進	農業再生協議会補助金	
			産農振興の拡大などを計画的に行う農業者に対し、農業資材や種苗の取得等に対する支援	産農拡大転換等補助金 規模拡大をめざす農業者が限定的であることから方向性を変更し、農業生産施設等整備補助金に移行する	
			ビニールハウスの設置や、高収入作物の生産支援策の検討	農業生産施設等整備補助金	
			地域の農産物の直売システムの構築支援とPRの推進	直売所マップとのぼりの作成	
3 - 3 農業の活性化と持続	3 - 3 農業の活性化と持続	農地の保全と農業の担い手の育成	耕作放棄の防止と新たな担い手の育成のため、市民ファーマー制度の実施内容の検討	市民ファーマー制度 農地バンク制度	JA矢間農園で農業指導を受けて農業体験をした方の就農に向けたステップアップを支援する事業を追加する
			農業の担い手不足を支援する産農ボランティア制度の設置	産農ボランティア(農業振興推進事業) 利用実績がないため方向性を変更し、農業担い手づくり事業に移行する	
			ため池や農業用水路等の点検・修繕等への支援	農業用施設応急改良事業費補助金(農業施設改良事業)	
			有害鳥獣の捕獲について、社団法人兵庫県猟友会川西支部との連携により実施(他団体との連携も構築する)	有害鳥獣捕獲 シカ緊急捕獲拡大事業負担金 特定外来生物捕獲	
			生産緑地の新規・追加指定と特定生産緑地の指定の申出への対応	生産緑地の指定等への対応	
			「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」に基づく申請への対応	都市農地の借受けに向けた事業計画の認定	
			「農福連携」や「農教連携」の展開支援	事業化に向けて検討中 右記事業を実施する	矢間農園での取り組みを他の福祉事業所に広げられるよう支援するとともに、農作業等を委託する際の補助等を行う
			農業の担い手の育成をめざした、新たな農業体験機会の創出	農業担い手づくり事業	
			農地活用や利用者資格の緩和	市民ファーマー制度	
			里山林などの身近な森林の整備・保全のため、森林ボランティア団体への補助	森林ボランティア団体支援事業補助金	
3 - 3 農業の活性化と持続	3 - 3 農業の活性化と持続	農地の保全と農業の担い手の育成	県と連携した山地防災対策の推進(新規) 山地防災への対応のため新設する		県が実施する治山事業に協力し、激甚災害に対応するため県と連携して治山事業を進める
			森林環境譲与税を活用した、森林整備や担い手の確保、木材利用の促進等を検討	森林環境譲与税の活用	

<p style="text-align: center;">労政</p>					
<p>4 産業を担う人材確保と育成</p>	<p>4 - 1 人材の確保と育成</p>	事業承継への支援	県・商工会・金融機関等と連携した事業承継に向けた中小企業の支援	次世代トップリーダー養成講座の開催	地域金融機関・商工会と情報共有した上で、事業承継にかかる費用の補助金制度を創設し、総合的に事業承継を支援する
		ダイバーシティの推進	国・県等と連携を図り、高齢者・障がい者等の就労に向けた支援の推進 関係団体で構成する「障がい者雇用・就労推進本部」を設置し、障がい者雇用を推進 ダイバーシティに取り組む市内事業者のPR	川西市障がい者トライアル雇用奨励金・継続雇用奨励金 障害者雇用・就業支援ネットワーク等への参加 障がい者雇用・就労推進本部 多様な働き方やダイバーシティに取り組む事業者のPR	市内事業者等のネットワーク化を支援し、障がい者などの就労支援を促進する 多様な働き方を推進する動画の公開及び企業人権問題啓発推進協議会講演会の開催により、多様な働き方やダイバーシティの啓発を進める
		希望する就職に向けた支援	伊丹公共職業安定所と共同で川西しごと・サポートセンターを設置し、職業紹介や就職相談を実施 兵庫労働局との一体的実施事業の実施による就労に関する課題解決の支援 しごとサポートセンターを情報提供だけでなく、就労における課題解決に向けた支援を行う施設と位置づけ、事業を推進していく	川西しごと・サポートセンターの運営	課題解決型の支援を実施するため、既存事業に加え、企業向け採用支援セミナー・相談会の実施やキャリアカウンセリングの実施、就職面接会・説明会等を実施する
			兵庫労働局が設置する「若者キャリアサポート川西」で、職業相談や面接会等を実施 若者を対象とした就労体験事業を実施し、市内事業者等への就職支援	若者キャリアサポート川西 若年者就労体験支援事業	
			キャリアカウンセリングのオンライン実施を含む、相談機会の拡大 一体的実施事業の中の課題解決の一手法として位置づけるため、上記事業に移行する	オンラインキャリアカウンセリングの実施 オンラインキャリアカウンセリングを含めたキャリアカウンセリングの実施とし、上記一体的実施事業に合併	
			事業者の立地支援による、就労機会の創出	関係調整委員会企業部会での検討 R4年度に策定した地域未来投資促進法に基づく基本計画に則して具体的に立地支援を進めることが必要	地域未来投資促進法の基本計画に基づき、税制の優遇や県支援措置の併用により立地促進を進める
	<p>4 - 2 働き方と労働環境の向上</p>	働き方に関する啓発の推進	「長時間労働の是正」、「多様で柔軟な働き方の実現」に向けたワーク・ライフ・バランスの啓発 多様な働き方に関するセミナー・相談会の開催 労働相談の実施や、労働者支援セミナーの開催	労政ニュースの発行 多様な働き方セミナー 多様な働き方推進による動画の公開 労働相談 労働者支援セミナー	県が実施する仕事と生活の調和推進企業認定事業についてHP等でPRを行う
			リモートワークの普及に対応する「コワーキングスペース」を運営する事業者の支援	コワーキングスペース開設支援事業 開業時の工事費等及び家賃等の運営資金支援の支援を3年間行い、開設初期の資金面の支援を行ったため、次のステップへの移行が必要	コワーキングスペースを利用したリモートワーク等の働き方に関するPR等を行い、働き方に関する啓発を行う
			優れた技能と長年の経験がある技能功労者と、長年勤務する優良従業員への表彰 法定健康診断の機会の確保(新規) バセオかわにし実施時にコースの高かった法定健診の支援をバセオかわにしサービス終了後も実施するため新設する	技能功労者・優良従業員表彰	バセオかわにし終了に伴い兵庫県予防医学協会による健康診断の実施支援を行うとともに、産業保健推進事業の実施により法定健康診断の機会の確保を行う
		勤労者福祉の充実	川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター(バセオかわにし)への補助を実施 民間福利厚生サービスの充実等を理由に理事会決議によりサービス終了したため、法定健診に係る事業のみ上記事業に移行する	川西市中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金 バセオかわにし終了に伴い法定健診の実施支援事業を新規実施	

総農家の経営耕地面積と耕作放棄地(農林業センサス)

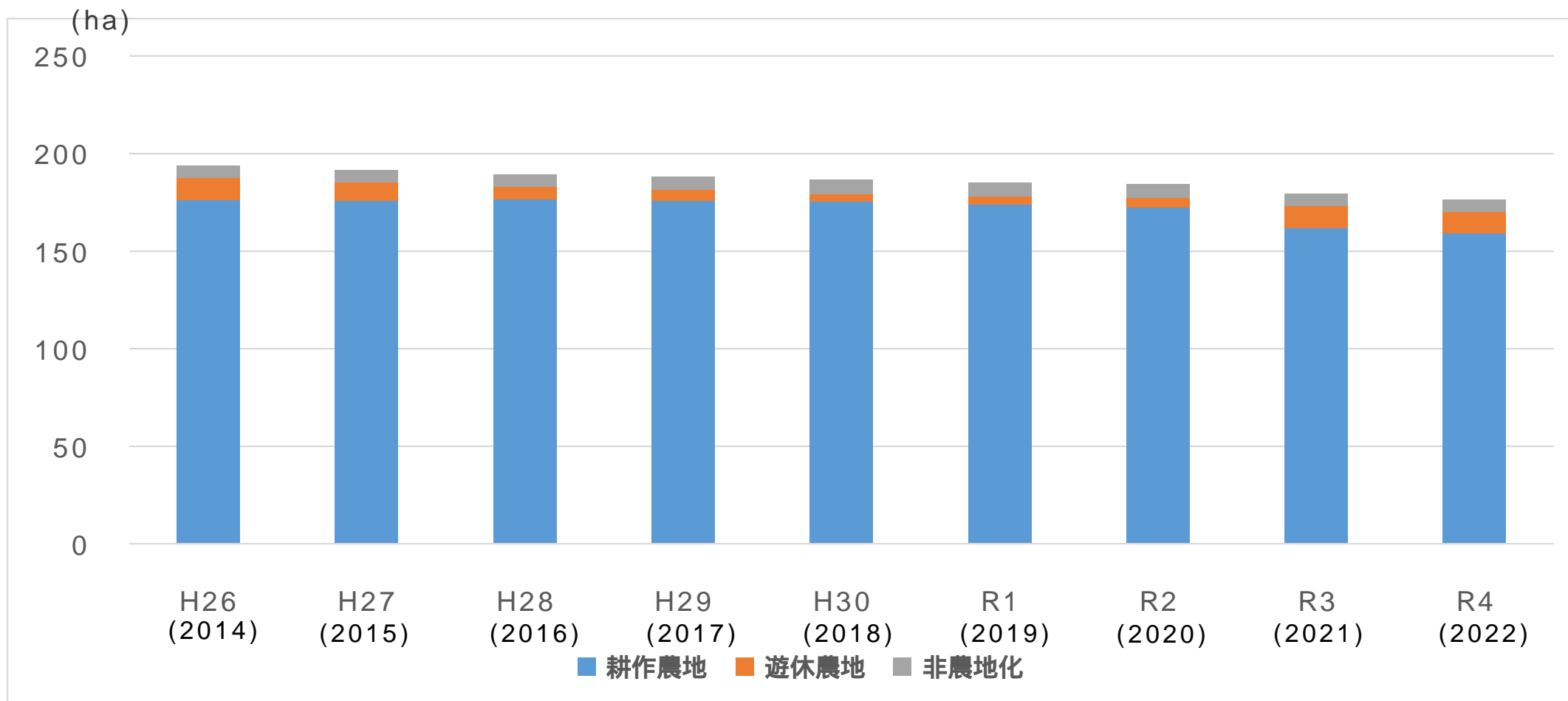
- 経営耕地面積は、販売農家では令和2年に89haとなり、平成27年と比べて26haも減少。
耕作放棄地面積は、農家の申告による主観ベースの数値であり、平成20年より、農業委員会による客観ベースの荒廃農地の把握が行われていることから、2020年農林業センサスでは耕作放棄地を把握する項目を廃止。



資料：農林業センサス (H12、H17、H22、H27、R2)

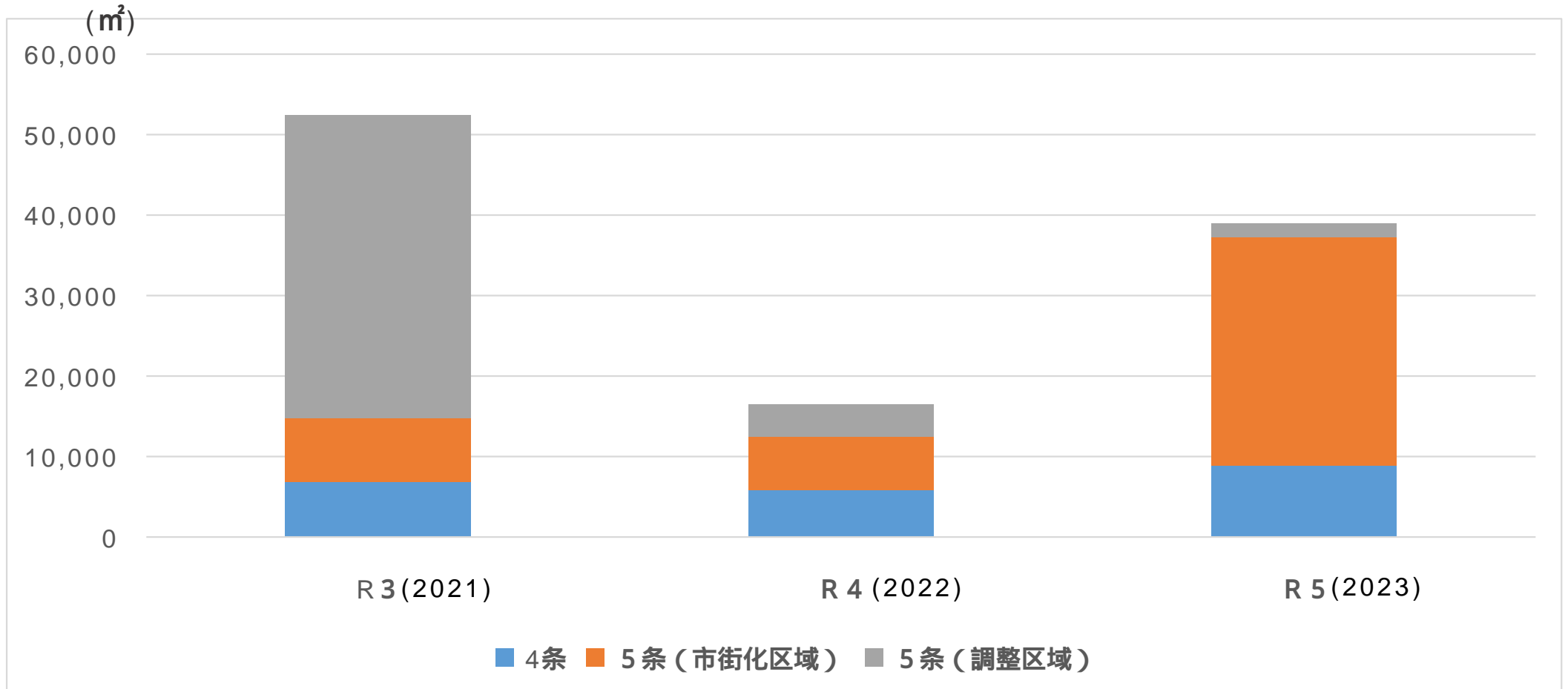
市内の農地面積(農業委員会把握分)

- 農地面積は令和4年度で176haで、平成27年と比べて15ha減少。農林業センサスの結果より緩やかな減少となっている。



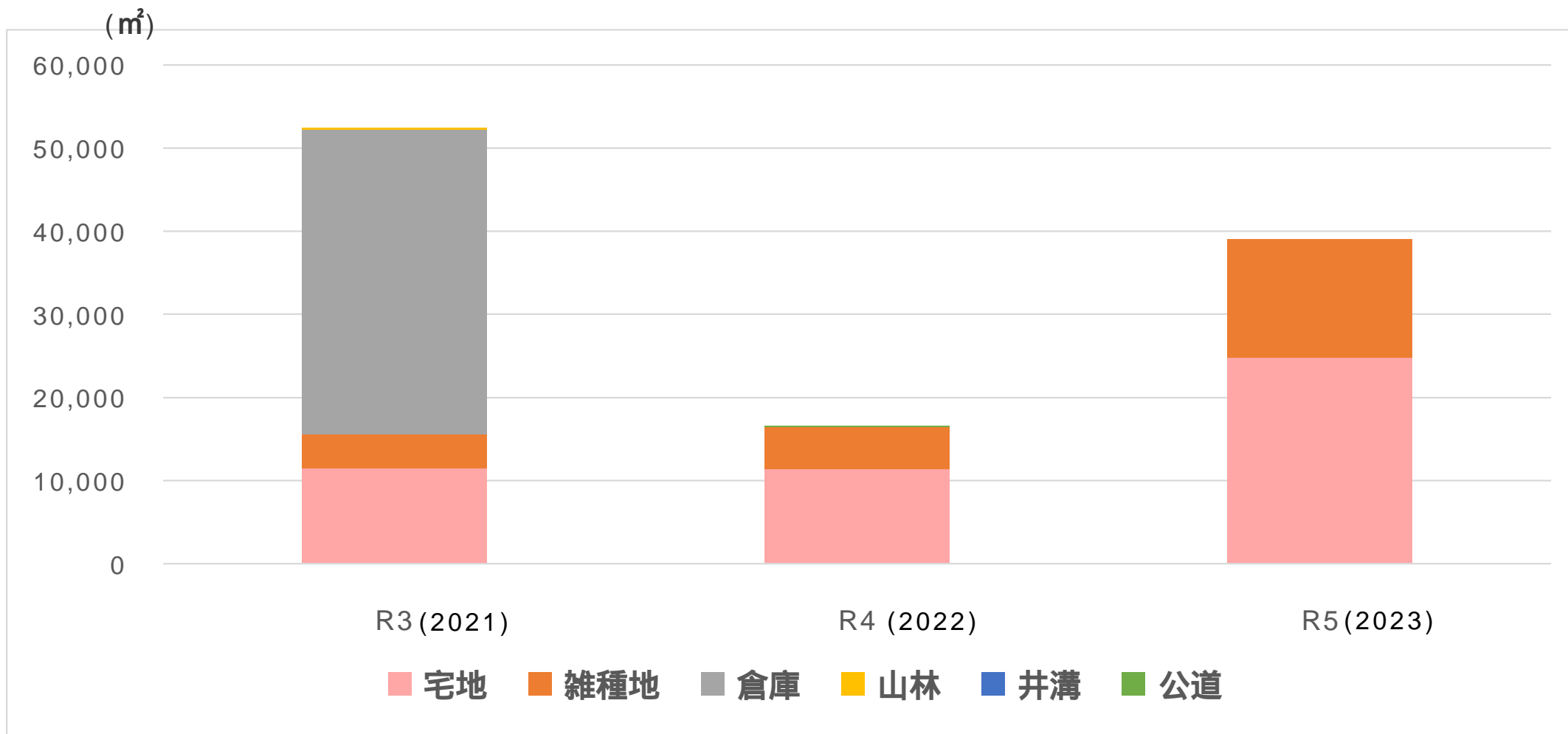
農地転用面積(農業委員会把握分)

- 直近3年間の転用面積の合計は11.4ha。
4条は自己転用、5条は売り(貸し)、買主(貸主)が行う転用を表す。
R3年度の5条(調整区域)の転用は石道地区の物流施設等の開発によるもの。



転用地目の内訳(農業委員会把握分)

- 転用後の用途は主に宅地・雑種地。
R3の石道地区の開発はすべて倉庫



川西市産業ビジョンの改定に関するご意見・ご提案シート

本日の会議についてご意見・ご提案等ございましたら、当シートにご記入いただき、E-mailで【10月2日(月)】までに、ご回答をお願いします。

ご回答は任意の様式でも結構です。

【担当】川西市産業振興課 田中 英一 E-mail : kawa0181@city.kawanishi.lg.jp

1、現在の地域産業の状況について、皆様のご職業やご役職の見地からご意見をご記入ください。

2、新たな取り組みの方向性等のご意見・ご提案をご記入ください。